修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末祐
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

全修協 創立15周年を祝す

今後の飛躍を期待

文部大臣　坂田道太

財団法人・全国修学旅行研究協会が、ここに創立十五周年を迎えられたことは、まことにご同慶にたえないところであります。

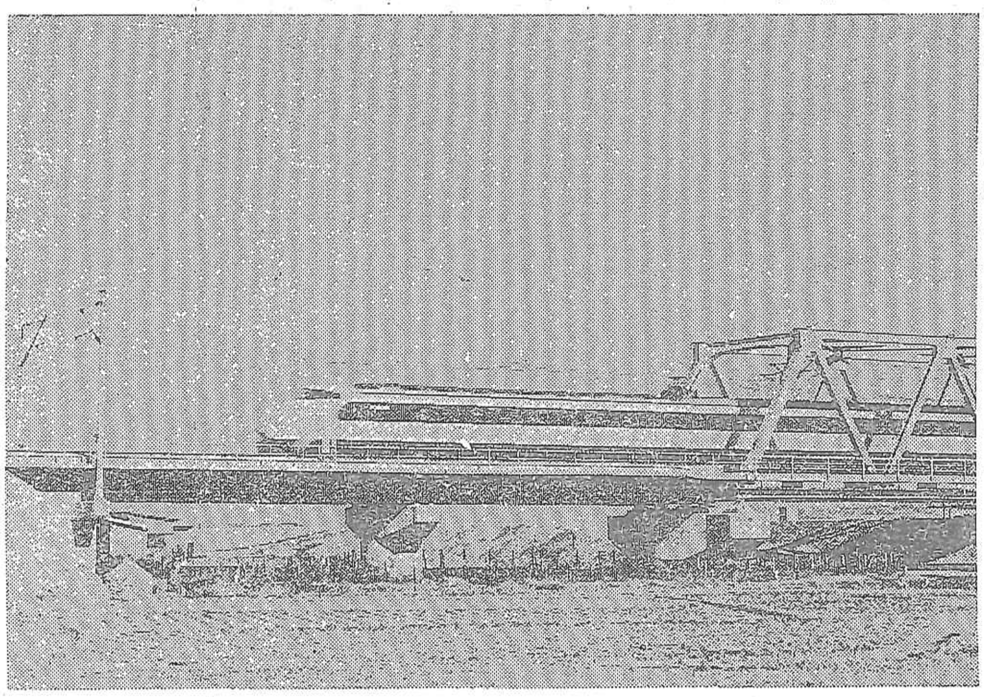
修学旅行は学校教育における重要な学校行事で、生徒の学習の場を校外に移し、見聞を広め豊かな情操の育成に資するもので、教育上の意義が大きいものであります。

とくに、現時の社会情勢にかんがみて、自然愛護、文化財の尊重、公共心の養成など重要な教育上の目標を達成する上で、きわめて大きな役割を果たしております。また、修学旅行は今日の交通事情の中で最も安全に行なわれなければなりません。

財団法人・全国修学旅行研究協会はこれらの問題に対処し、修学旅行の健全な発展に寄与しておりますことをうかがっております。

創立十五周年を迎えられた貴協会が、この機会にその機能をさらに充実され、修学旅行の諸問題の解決に一層のご努力を払われることを切望し、お祝いのことばといたします。

坂田文部大臣


いよいよことしから修旅生をのせて走る東海道新幹線（国鉄提供）

尊い使命感

衆議院議員・前運輸大臣　原田憲

財団法人・全国修学旅行研究協会が、設立以来、修学旅行が適正かつ有効に行なわれるよう種々の努力をつみ重ね、ここに創立十五周年を迎えるに至りましたことは深く喜びとするところであります。

旅行は、人間性を発見し、社会連帯感を強めるものとして、国民生活のなかにますます重要性を増していくものと考えられますが、その正しい国民旅行は青少年の修学旅行によって、よりよい基礎ができるものと考えます。

今やわが国は、世界における経済大国となりましたが、さらに知的水準・文化度の面からも世界諸民族に先んじるものがなければなりません。

そのためには、青少年時代から見聞をひろめ、先人の文化をうけ継ぎ、自然を愛護するなどの大切な目的をもつ修学旅行が正しく行なわれ、新しい世代の人間形成に資するところがなければならないと思います。

創立十五周年を迎え、設立の精神にたち、使命感を新たにした協会会員各位の今後のご努力とご研鑽をお願いし、祝辞といたします

原田　憲氏

交通政策の樹立へ

運輸大臣　橋本登美三郎

あけましておめでとうございます。

私が運輸大臣に就任いたしましてから一年になります。この間常に大局的見地から将来五年後、十年後、さらに長期的にみたわが国運輸のあるべき姿をえがきつつ運輸行政を推進してまいりましたが、昭和四十六年度においてもこれらを念頭におきまして施策を講じてまいる所存であります。

一九七〇年代の高密度社会において、国土の最高度の有効利用を図るため、新幹線鉄道、新空港、拠点港湾、情報システム利用などに着目した総合交通施策が必要であると存じます。

東海道新幹線の実績によって明らかなように、新幹線鉄道は、大量・高速というきわめてすぐれた輸送機関でありますので、この特性を生かし、全国主要都市間を高速で結ぶ全国新幹線鉄道網の整備をいたすことは、全国の均衡ある発展のため緊急不可欠であります。

さらに航空、海運なども経済の国際化に対処するため今後とも国民各位のご協力をお願いいたすしだいです。

橋本運輸大臣

安全輸送に協力を

国鉄総裁　磯崎叡

財団法人全国修学旅行研究協会が昭和三十年、教育界の有志の方々によって設立されて以来、その使命達成に鋭意努力をつみ重ね、ここに十五周年を迎えられたことは、まことにお喜びにたえないところであります。

修学旅行は、社会を場として学校が計画的に行なうわが国特有の教育形態として、明治初期から百年に近い歴史を持つもので、今後とも国家社会の進歩とともに教育上の重要な役割を果していくものと考えられます。

国鉄は、新橋・横浜間に初めての鉄道開通以来百年の歳月を数えその間つねに国民生活に重要な役割を果してまいりました。とくに戦後の荒廃した国土と社会の中にあって、わが国交通動脈の確保に全力をつくし、産業、経済の発展に寄与してきました。また、修学旅行、通学生徒などの安全輸送を通じて、教育の進歩のためにもお役にたちましたことを深く喜びとするところであります。

修学旅行専用列車は、教育界のご要望にこたえ、関係方面のご協力を得て運転してきたものでありますが、新幹線による新しい輸送時代を迎え、いよいよその重要性を増すものと考えられます。

幸いに貴協会はじめ教育界諸団体のご協力により、新しい時代の新しい交通機関としての国鉄が、わが国の教育が進展するため重要な役割を果すことができましたらこれにまさる喜びはありません。

創立十五周年を迎えられた貴協会の今後のご発展を期待し、お祝いのことばといたします。

磯崎国鉄総裁

さらに提携の強化を

国鉄旅客局長　伊江朝雄

財団法人全国修学旅行研究協会が昭和三十年、教育界の有志の方々によって設立され、いらい、修学旅行遂行のための努力を続けられ、ここに創立十五周年を迎えられましたことは、まことに喜びにたえません。

修学旅行は他国に例をみないわが国独特のものでありますだけにその狙いでありますわが国の自然文化、経済、産業などの重要な各地を直接に見聞し、校外における教育的な効果を発揮するものでありますので、国鉄としてもその輸送を安全に円滑に行なうよう、常に最大の努力を傾注して参ったところであります。

昭和三十四年以来、貴協会はじめ教育関係諸団体のご要望にこたえ全国各地域に修学旅行専用の電車を設備しご利用を願ってまいりました。とくに貴協会からは、その運営に格段のご尽力をいただき教育界や関係各機関との連絡提携がスムーズに行なわれ、輸送が円滑に行なわれておりますことは私どもの深く喜びとするところであり謝意を表する次第であります。

修学旅行が今後とも効果的に、かつ安全に行なわれますよう貴協会のご活動に期待しております。

伊江局長

風紋

一九七〇年代第二年目の幕はあいた。この年はどのような年になるのか、どのような年にしなければならないのか▼年末年始にかけて政治家、学者、評論家などいろいろの角度から発言したが、共通していることは、激動と変化が非常に早く、この一年は昔の何十年間かの変りに相当するだろうということだ。この変化の波動を肌で感じとって、日常の行動のテンポをきめるということは、いうべくしてなかなか困難のことのように思われる▼写真の理論が発見されたのは一七二七年実用化されたのが一八二九年、その間百二年を要した。ところが、ラジオは三十五年、テレビは十四年で実用化され、ミサイルに至っては理論の発見が一九五六年、実用化が一九六一年、その間僅かに五年に過ぎない▼このように世の中がいよいよ加速度的に進むと、十八世紀の百年は二十世紀の五年となり二十一世紀は一年か半年という事になるだろう。今年はそういう時代へ足早やに近づく年である。こう思うと、一日一日が底知れない変化を表現していることと、そらおそろしい気がしてくる▼過ぎ去った世紀のようにゆるやかな進歩の時代は、一たび得た知識や経験は、一生の支えになったろうが、これからは絶えず頭脳の更新をはからなければ、ついていけない事になろう。「旅」に出て、心を慰むとか、自然に親しむという本来の古典的意義を求めることはもちろん大切であるが社会の今日的動態にふれ、生動する世の中の鼓動を自分の耳と目でたしかめることの必要をあらためて考えさせられる▼教育者は特に象牙の搭（?）を出て、激動の社会を洞察し、未来へのたしかな予見をもつため、新たな意味の「旅」が用意されなければならない。そのための条件づくりは、教師個人のレジャーをはるかにこえた高い次元のものである。

謹賀新年　1971　祝 財団法人 全国修学旅行研究協会創立15周年

衆議院議員
原田憲

関東地区中学校
修学旅行委員会
会長　渋谷宣二

近畿中学校
修学旅行委員会
運営委員長
多田義雄（大阪府）　木浦馨（京都府）
片山昭（兵庫県）　中野秋雄（奈良県）
有川重雄（滋賀県）　高城敏三（和歌山県）

あおぞら号近畿地区
運営協議会
会長　北野勝

近畿地区高等学校修学旅行
専用船運営協議会
会長　坪井明

東海三県修学旅行委員会
会長　仲谷義明

全修協運動に感謝

全国連合小学校長会長

高橋早苗

"可愛い子どもには旅をさせろ"との例言がある。それは昔の旅の苦しさに耐えさせる一面と、静かに己に沈潜して日常を省みるとともに、家族のことを考える機会ともなったからであると思う。

加えて未知の自然に心をうたれたり、先人の文化遺産に接することによって、人生のあり方も学びとることができるからであろう。

今日は旅は楽しいものとされているが、"旅は人をつくる"とわたくしは考えている。列車の窓からあたりの風景や、人々のいとなみをみるとき、何人も生計のためいろいろと苦心していることを知り、"足るを知る"の境地への窓を開くことになると考える。同時に新たな人生への意欲をかきたてられるものとも思う。

ともあれ旅は人生の節となり、その人となりを助ける。この時に当り、青少年の見聞も広め、自己形成のために努力されている全国修学旅行研究協会に、あらためて敬意と感謝をささげるものである。

修旅改善に努力を

全日本中学校長会長

福島恒春

科学、技術の異常なまでの飛躍的革新に伴なって、人間生活の様相は、極端に変貌をきたしたことは、衆知の通りである。

時間的、空間的距離の短縮は、驚くばかりである。

中学校生活の最も楽しい修学旅行の形態もこの際斬新な考え方から再出発する必要がある。

新幹線利用が可能になった。昭和四十六年度から、見学個所の拡大、重点化など、今までの殻を破って再考する必要があるし、京都のみの旅館（詰込み主義で、宿泊費のみ高騰する現状にかんがみ）利用も、空間、時間拡大とともにこだわることはないだろう。

義務教育下、奉仕的精神を忘れた受け入れ側（エコノミック・アニマル的な）の反省を求める要もあるであろう。

創立十五周年を祝福するとともに、以上の点の改善に"全修協"も側面的努力をされるよう切に望む次第である。

効果的な実践望む

全国高等学校長協会長

吉田寿

昭和四十七年四月には、新幹線は岡山市まで開通し、東京・岡山間を僅か四時間余りで走破するという。交通機関の発達は、空間を時間的に大幅に縮少し、旅行者にかずかずの便益をもたらした。時間的にきびしく制約されている地区の修学旅行計画は、今後大きく変化することが予想される。

修学旅行については、種々の考え方がある。その目標の置き方如何にかかわらず、生徒各自に、日本の古典文化や自然、あるいは近代科学の粋を、その眼で感得し、心に受け止める機会を与える学習形態の一つとして、修学旅行のもつ教育的意義は高く評価されよう。

量よりは質、形よりは実の教育が叫ばれている今日、教育課程における教科外活動の位置づけを再検討し、それがより効果的に実践されることを期待して止まない。

教育がより発展進歩することを祈念しつつ年頭のごあいさつといたします。

ご健闘を切に祈る

日本教職員組合
中央執行委員長

宮之原貞光

輝しい一九七一年を迎え、心から連帯のあいさつをおくります。

また全修協創立十五周年にたいして心からおよろこび申上げるとともに、みなさんが、子どもたちのよりよい学習のまとめとしての旅行をするため、企画と研究に日夜没頭されていることに対して心から敬意を表したいと思います。

今日ほどレジャー・ブームに謳歌され、生来学習の範囲に位置する"修学旅行"がただ一ぺんの享楽に終ってしまう気風が、横溢している時はないと思います。

子どもたちがまだみぬ社会に、教室で学習したことを、実際に身体を通じて自分の物にする機会と具体的な事物にふれて、物を考え自分の思考を確立する場所が、チャンスが修学旅行であると思います。

全修協がますますよりよい子どもたちの発達をめざして、ご健闘されますことを祈念いたしましてお祝いのことばにかえさせていただきます。

有意義な研究期待

日本高等学校教職員組合
中央執行委員長

小森秀三

財団法人全国修学旅行研究協会が発足して十五周年になるとのこと。修学旅行というのは、とくに最近は灰色になりがちの長い学校生活のなかで、青少年が社会にでてからも一番記憶にとどめることの一つです。それは修学旅行で日常は気づかないような、生徒同士の、また生徒と教師の間の人間性にもとづくふれあいや理解がふかめられるからだと思う。これからも単なる観光ブームの風潮に流されない教育的にも有意義な、しかも無理のかからない修学旅行がなされるための研究を期待いたします。

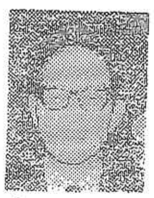
ところで一九七〇年にも、中教審の"教育改革"構想が連続的にうちだされるいっぽうで、他方、東京教育大・家永教授の教科書訴訟で家永教授が勝訴し、民主教育権利としての教育についての論議がつよめられ、理解が深かめられてきています。私たちは、これからも、日本の平和、中立、民主主義のための教育の発展に、少しでも貢献していくつもりです。

青少年育成のために

＝創立十五周年を迎えて＝

全修協
理事長

山本種一



明けましておめでとうございます。

今年は協会創立十五周年の意義深い年にあたりますが、ここに過ぎ去った年月をかえりみ、将来にわたる使命の重さに新たな感動を禁じ得ないものがあります。

とくに、設立以来運動の同志としてともに苦心を重ねてこられた各位、また、協会の事業に対して惜しみなくご理解とご援助をよせられた方々に対し、深く感謝申しあげる次第であります。

思えば、戦後、教育の復興とともに修学旅行も内容を充実しつつ年を追って発展の姿を示して参りましたが、たまたま相模湖、紫雲丸事件等の大事故が相つぎ、尊い生命を数多く失なうという重大な事態に直面し、父母教育関係者の深い悲しみは申すに及ばず、国、社会をあげての大問題となったことは記憶に新しいところです。

当時教育委員の任にあったわれわれ有志はこの事態にのぞみ、日本の青少年たちの前途のため、全力をつくしてこの事態に対応し、全国的に同志同憂の人々を結集し、児童生徒の生命を守り、積極的に正しい修学旅行のあり方を求めるべきであると意見の一致を見た次第であります。

すなわち、修学旅行の安全性の確保と教育性の高揚を旗印に全国教育界の同志が結集し、昭和三十年三重県賢島の地において協会が発足し、運動の第一歩を踏みだしたのであります。

以来、十五年の歳月が過ぎましたが、その間修学旅行が質量ともに時代の要請にこたえるよう研究調査活動を進めるとともに、数多くの修学旅行専用電車、専用船の新設運動を進め、関係教育界運輸機関の方々とともに約六百万名の児童生徒の安全輸送を確保してまいりました。

また、「教育は人なり」との信念にたって、教職員の移動現地研修会を毎年夏季に開催し本年は第十五回を迎え、その数七万名に達せんとしております。

これらの教師各位が教壇より児童生徒に与えた教育的影響を思う時、深い喜びを感ずる次第であります。

これから協会の進みゆく世代は、かつて人類が経験したことのない進歩と変化を示すであろうと思われますが、われわれは青少年を信愛し、その国土学習の場を重視する協会創立の精神を堅持し、より進歩した修学旅行が、未来社会をになう人間形成の上に大切な役割を果すよう諸般の研究と努力をつみ重ね、大方のご期待にお応え申したく思うものであります。

新年にあたり、各位の一層のご鞭撻をお願い申しあげご挨拶といたします。

よろこびに寄せて

全修協役員と支部長

輝やく足跡を

田尻一雄

全修協創立十五周年を慶祝申しあげます。

修学旅行の改善のために協会の歩んできた足跡は大きく評価されております。修学旅行専用列車や専用船が教育的に快適な旅行を楽しませてくれる…全修協の力だと思います。私としても全修協の今日の隆昌をよろこぶことでは人後におちないものです。（大分県支部長）

利用度倍加へ

村池久一

新年あけましておめでとうございます。

私はこの事業に直接間接に関係してから十年になりますが、石川県として十分にご協力のできなかったことをたいへん申しわけなく存じます。近年、営利本位の旅行斡旋業が乱立して、やや過当競争状況にありますが、この際、全修協の本旨を十分に理解徹底させて利用度を倍加し、七十年代の業界のホープとして生長発展することを念願してやみません。（石川県支部長）

すぐれた企画

河野正夫

十五年まえ、山本理事長の提唱によって古い同志が集ってこの財団を企画したとき、今日の隆盛を予想するものはいなかった。修学旅行の研究と指導に努力を重ねながら、教育関係者の研修旅行に幾千という人々を年々、北海道に九州に、東北に山陰にと各地に送り出して成果をあげ、とくに修学旅行専用の列車や船まで配慮した功績は大いに自慢してもよいと思う。すばらしい企画力と細心な用意と老巧な統率力によって協会の事業がすすめられてきた。これはひとえに理事長と役員、事務局全員の尽力の賜として感謝している。今後の発展を祈りたい。（理事）

諸運動に成果

千葉直

全修協発足いらい十五年、その足跡がわが国の教育振興に寄与した功績は極めて偉大なるものがありました。その原動力となったものは、常に全修協創設の精神にのっとり、こどもたちの幸わせと教育向上を基本として科学的な調査研究を行ない、組織的なとりくみをしてきたところに基因するものと思われます。

このことは、事業の拡大はいうに及ばず、要保護児童生徒の修学旅行補助費増額や教職員に対する研修旅行費の補助策、義務免扱い特別休暇獲得の運動にまで発展していることにうかがわれると思います。同卒十五年間の教訓の上に全修協がさらに飛躍的な発展をとげ、わが国の教育振興を図られますことを祈念し、支部を代表してお祝いのご挨拶といたします。（岩手県支部長）

さらに発展を

和田直三

全修協が十五周年をむかえました。立派に成長して、もう一人前です。しかも今日まで果してきた役割、大きな成果を思いますと心からお祝いを申しあげたいと思います。

まだまだやらねばならないことが多くあります。先ず"百聞は一見にしかず"で、私の県の教員が、北海道と九州の研修旅行には県費の補助で必ず一度は見て来てもらいたいし、海外へもどしどし出かけ、見聞を広くしてもらいたいと思います。全修協の本格的な発展はこれからです。（福井県支部長）

風雪にたえて

高橋亮

祝。全修協の十五周年。

全修協が山本理事長を陣頭に全役職員一丸となってよくも十五年の風雪に耐えてここまで発展してきたものと敬意を表しないわけにゆきません。

修学旅行専用列車・専用船の運営、研修旅行コースの研究と設定、修学旅行新聞の発行など、どれひとつとっても大事業であるがそれにも増して教職員ならびに児童生徒の研修という精神的啓発に対する功績はまことに偉大であって称賛に価するものがあります。

全修協も十五年の間の体験と基礎をもとに七十年代にふさわしい革新的発展をとげられるようお祈りいたします。（秋田県支部長）

握った指導権

高田治郎

日本の修学旅行の問題は、全修協をぬきにしては考えられない。修学旅行の理論と実践で、具体的に成果をあげて行動してきたことは何人も認めるところである。修学旅行を企画し、立案する教師自身の研修旅行を長期、かつ継続的に実施してきたことこそが絶対的にこの道の指導権を握ってこられたものと思う。この組織力、動員力と行動性こそは、生徒・児童の安全な修学旅行が出来るような専用電車、専用船を実現させたのである。

十五周年を迎えた全修協の今後の課題は法人の寄付にたよるのでなく、自立できるように、事業の新生面の開拓することではないかと思う。（理事・北海道支部長）

大和路のすべてが
ひと目でわかる
奈良歴史教室

歴史かおる奈良・大和路の名所・旧跡を数々の展示物やスライドでご案内するほか　幻の名塔薬師寺西塔の再現　上村松篁画伯の大作壁画「万葉の春」・新薬師寺十二神将の模刻など文化財・美術工芸品をご紹介　縄文・弥生の昔から今日までの移り変りがひと目でわかる楽しい展示館です

入場料…100円
こども50円（団体は割引）
営業時間…平日10時～18時　日・祝日10時半～18時半（月曜休館）
＊予約団体には時間延長いたします

お問合せ…近鉄奈良駅ビル内
奈良歴史教室
奈良市東向中町28
〒630
☎（0742）24－3901

近鉄